

高齢者向け簡単絵はがき作成アンドロイドアプリの構築

岸川 瑠美

1. はじめに

現在、スマートフォンは子供から大人までの幅広い年齢層の人々に普及し、今ではなくてはならない身近なツールになっている。また、いつでもネットワークを持ち歩け、あらゆるメディアにどこからでも接続でき、スマートフォン利用者の多くが、インターネット、SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)を使用し、友人たちとコミュニケーションをとっている。しかし、高齢者のスマートフォン利用者はまだごくわずかであることから、高齢者と若い人々の交流が少なくなっている。本研究では、高齢者にもイメージし使いやすい絵はがきを用いた交流を支援するアプリを作成する。

2. 絵はがきの利用

絵はがきとは写真や絵を印刷しているはがきのことである。写真や絵、文字が一枚の画像になっているので、高齢者にとって理解しやすい。文字を手書きで書くので、文字入力の手間が省け、肉筆で書くので自分らしさを出すことができる。また、絵はがきは返事が届いた時の嬉しい気持ちや、肉筆が伝える相手を思いやる気持ちを届けることができる。

3. 絵はがき作成アプリ

3.1 アプリの概要

本アプリはアンドロイド[1]で動作し、カメラで撮影した写真やギャラリーから選択した画像と手書き入力した文字の画像を組み合わせ、絵はがき画像を作成する。手書き文字の入力は、アンドロイド端末のタッチパネル部分を指でなぞるようにして入力する。本アプリで作成できる絵はがきの種類は、以下の3種類である。

- (a) 画像+文字 (1ペイン)
- (b) 画像+文字 (2ペイン)
- (c) 文字のみ

3.2 アプリの設計

アプリの画面遷移を図1に示す。

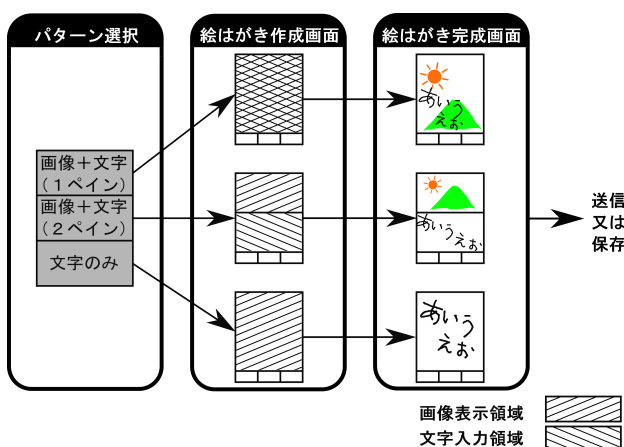


図1 アプリの画面遷移

はじめに作りたい絵はがきの種類を選択する。選択すると、それぞれの絵はがき作成画面に画面が移動する。(a)では、絵はがき作成画面に移動すると、まず背景の画像を選択し、そ

の上に文字を描くことができる。(b)では、上ペインに画像を表示できるようになっており、上ペインをタッチすることで、画像の選択ができる。下ペインには、文字を描くことができる。(c)では、画面全体に文字を描くことができる。文字の描画の機能としては、色の変更、太さの変更、消しゴム、クリアがあり、画像に対しては画像の回転がある。作成した絵はがき画像は保存、メールに添付して送信、Facebookにアップロードをすることができる。図2は、絵はがき作成画面、図3は色の選択画面、図4は太さの選択画面である。

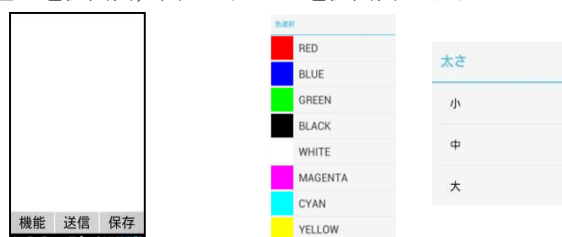


図2 絵はがき作成画面 図3 色選択 図4 太さ選択

4. デモンストレーション

それぞれの絵はがきの完成画像を図5、Facebookに投稿した様子を図6に示す。



(a) 画像+文字 (1ペイン) (b) 画像+文字 (2ペイン) (c) 文字のみ

図5 完成した絵はがき



図6 Facebookに投稿

5. まとめ

本研究ではタブレットを想定してアプリの開発を行った。スマートフォンで行うと画面のサイズが小さいので、繊細な文字や絵の描画は難しかった。この対策が今後の課題である。
謝辞 本研究の一部は株式会社日立ソリューションズ九州との共同開発による援助を受けた。

[参考文献]

- [1] 布留川 英一, “Android プログラミングバイブル SDK3.0/2.3/2.2/2.1 対応”, ソシム株式会社, 2011.